

令和7年度 自己評価・園評価表(保育教諭)

回答数

20 / 35

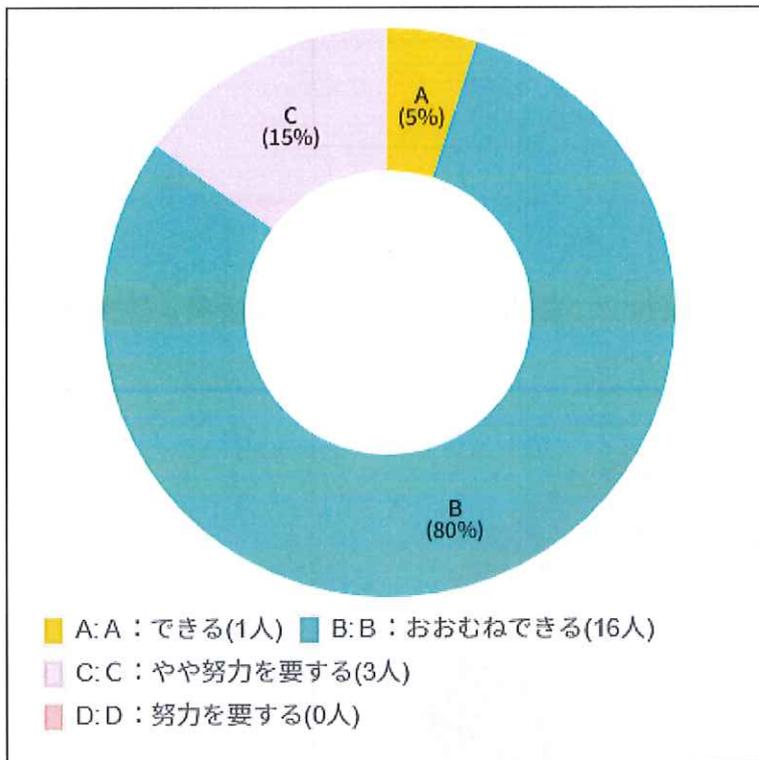
(回答数 / 配信数)

回答期間

～ 2026/01/28

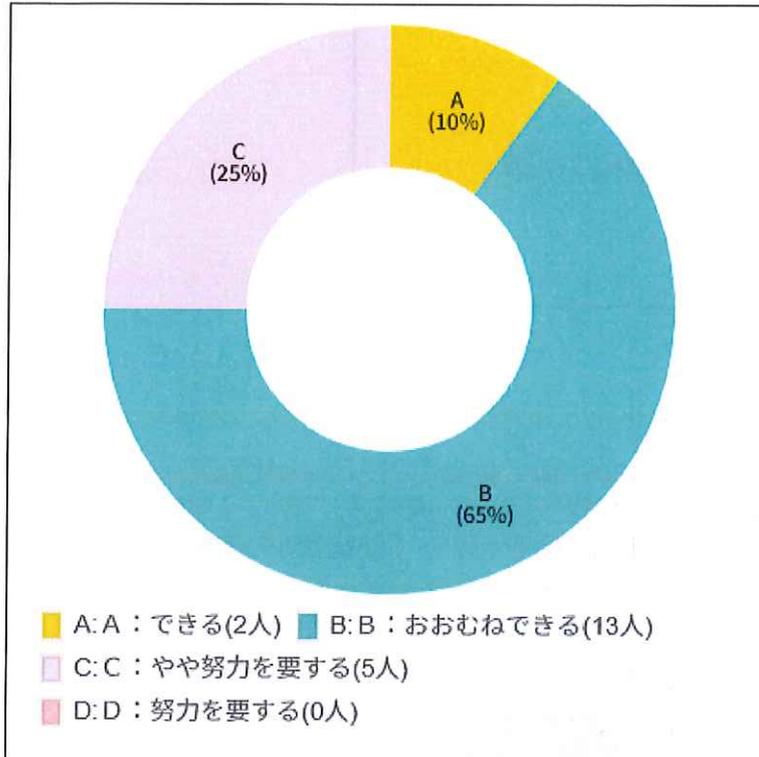
設問1

園の教育・保育目標や、全体的な計画に係る各種計画の相互関係、教育課程の内容等について理解し、乳幼児の実態、家庭生活との連続性に基づく学年（クラス）の長期・短期の指導計画について、多面的に評価を行い、指導計画の改善を図ることができる。



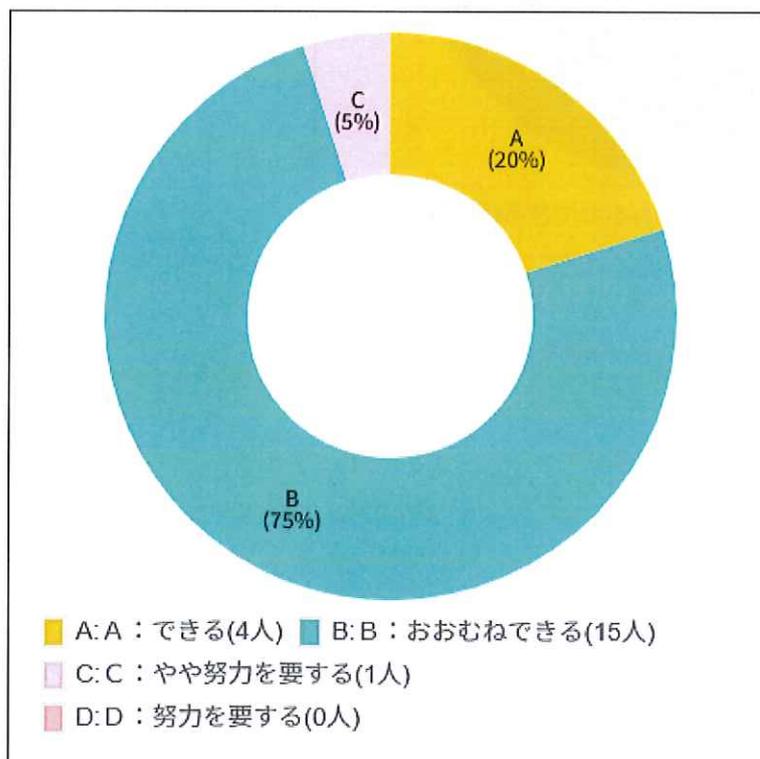
設問2

全体的な計画に係る各種計画の相互関係を考慮し、各種計画の作成に参画することができる。



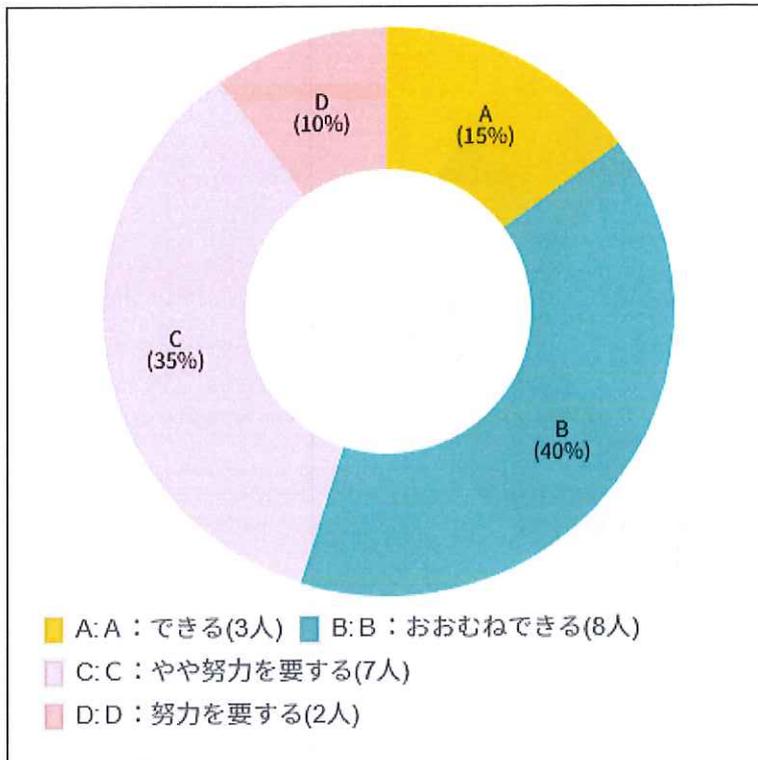
設問3

園生活が家庭との連続性を保ちつつ展開されるように、保護者と連携を図ることができる。



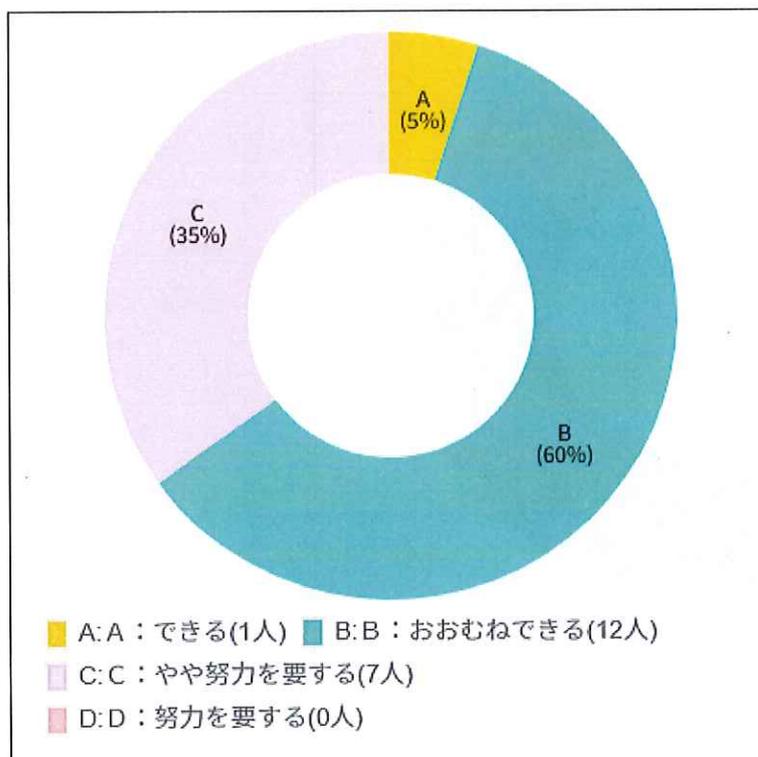
設問4

長期・短期の指導計画の作成について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



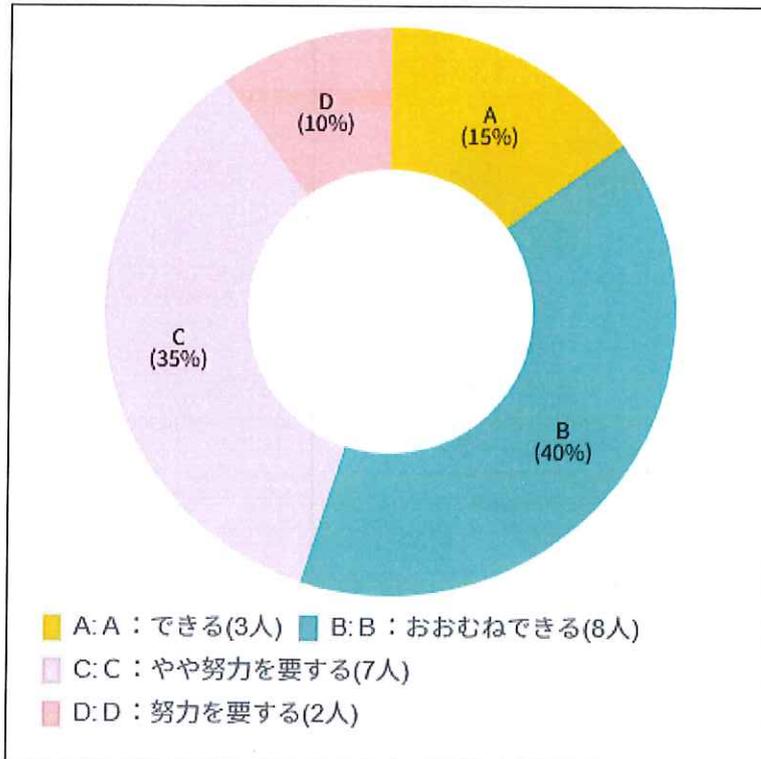
設問5

園の教育・保育目標の実現、全体的な計画に係る各種計画への取組状況について、成果と課題を客観的に分析し、その改善策を次年度の計画に反映することができる。



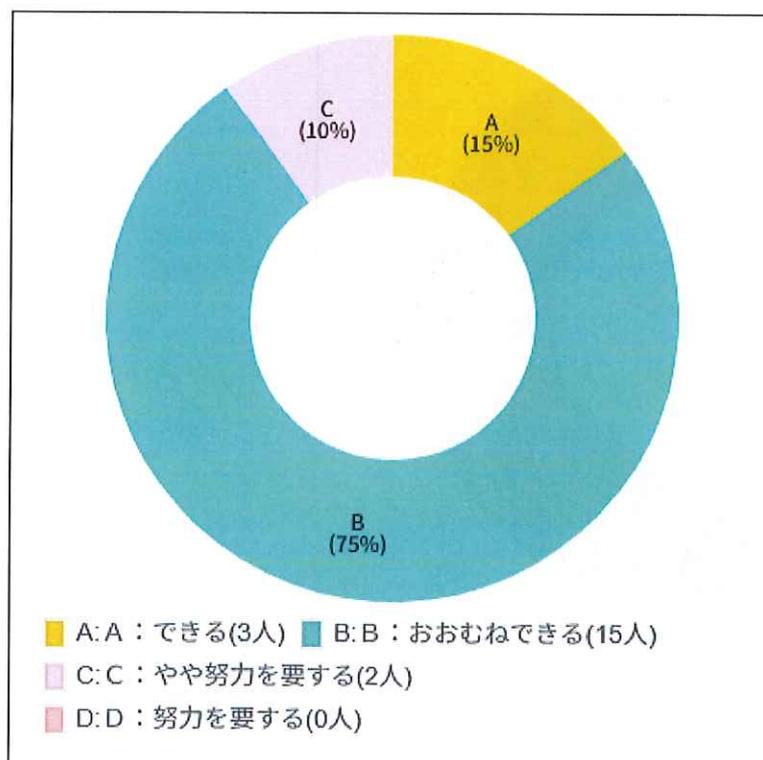
設問6

長期・短期の指導計画に基づいた実践の評価や改善について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



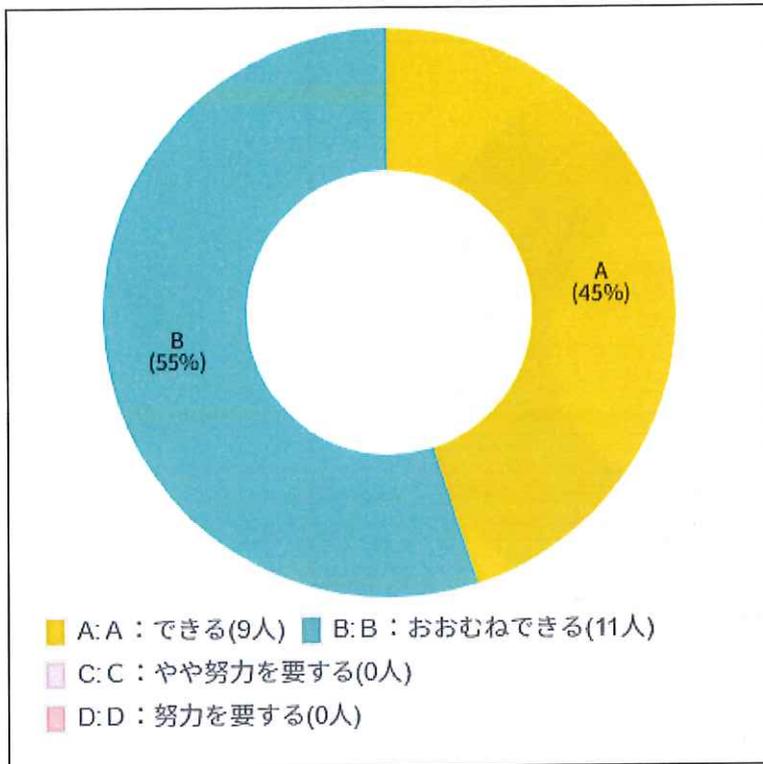
設問7

園全体の危機管理の理解を踏まえ、乳幼児が安心・安全に生活できる園内外の環境への配慮や指導の工夫をし、必要な対策を講じることができる。



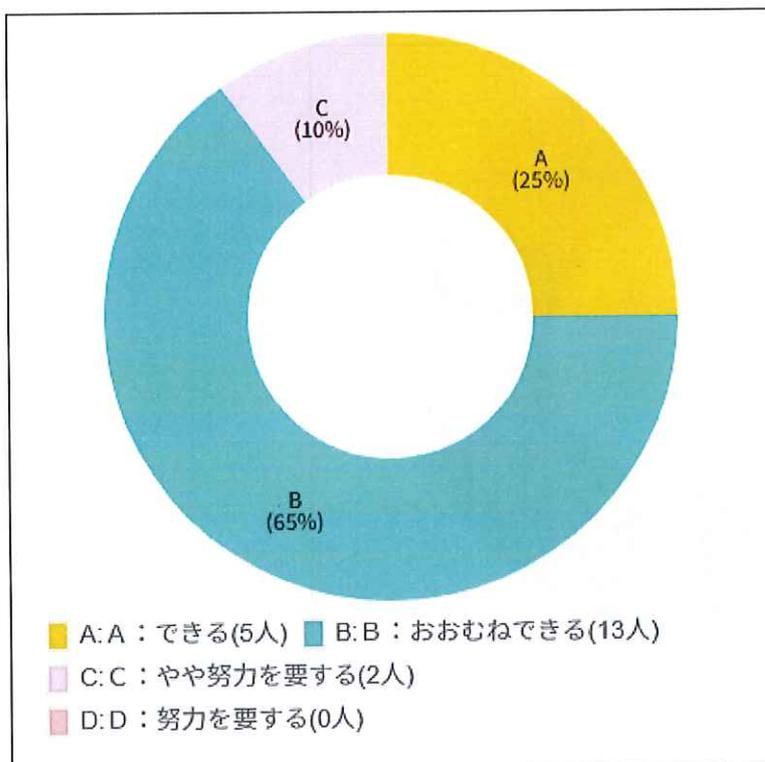
設問8

危険を察知した際は、管理職の指示を踏まえつつ、他の保育者と協力し、迅速な対応ができるように、役割を果たすことができる。



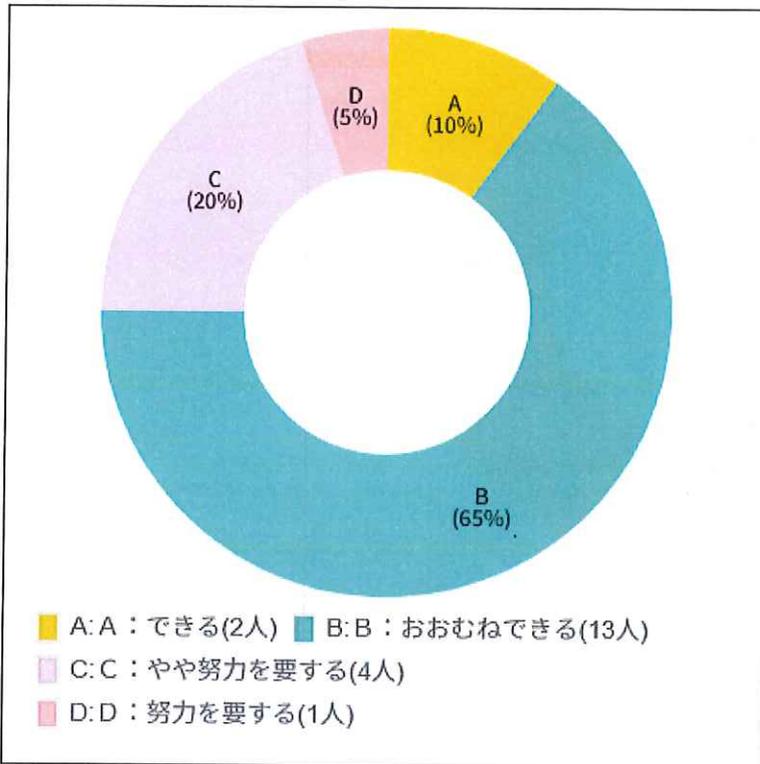
設問9

園の安全計画、保健計画、危機管理マニュアル等の作成に参画するとともに、避難訓練等を実施する等、必要な対応を図ることができる。



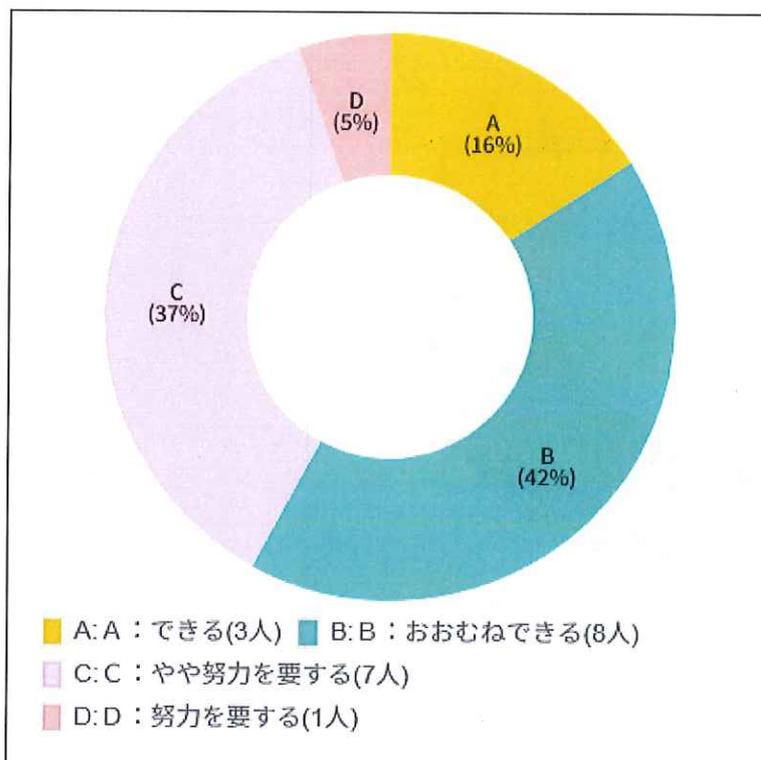
設問10

小学校教育との円滑な接続に向けた、小学校の教員との「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりにした幼児の姿の共有を通して、学びや育ちの連続性を意識して指導計画を作成し、実施することができる。



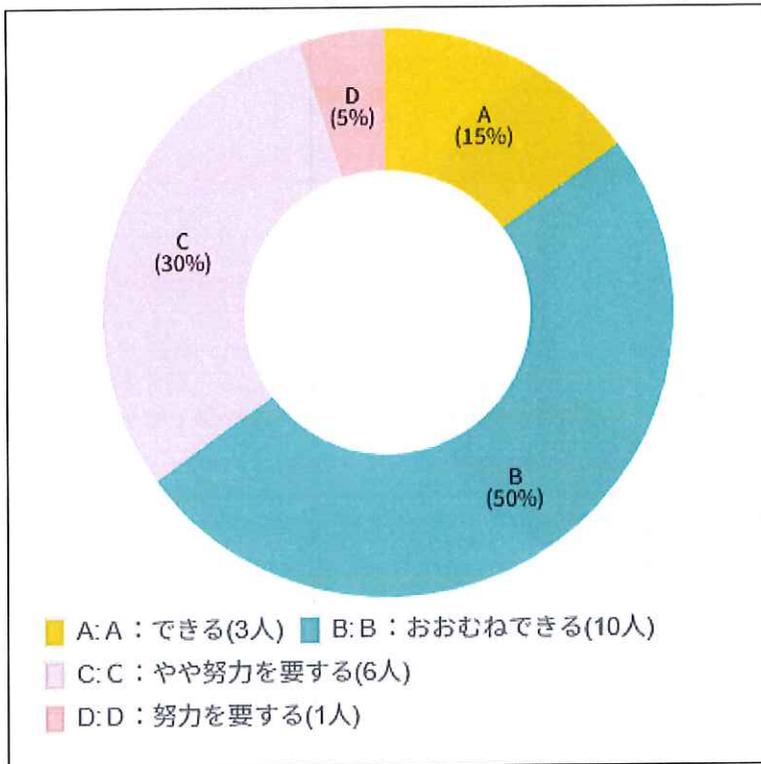
設問11

小学校教育との円滑な接続に向けた互恵性のある交流・連携を積極的に推進することができる。



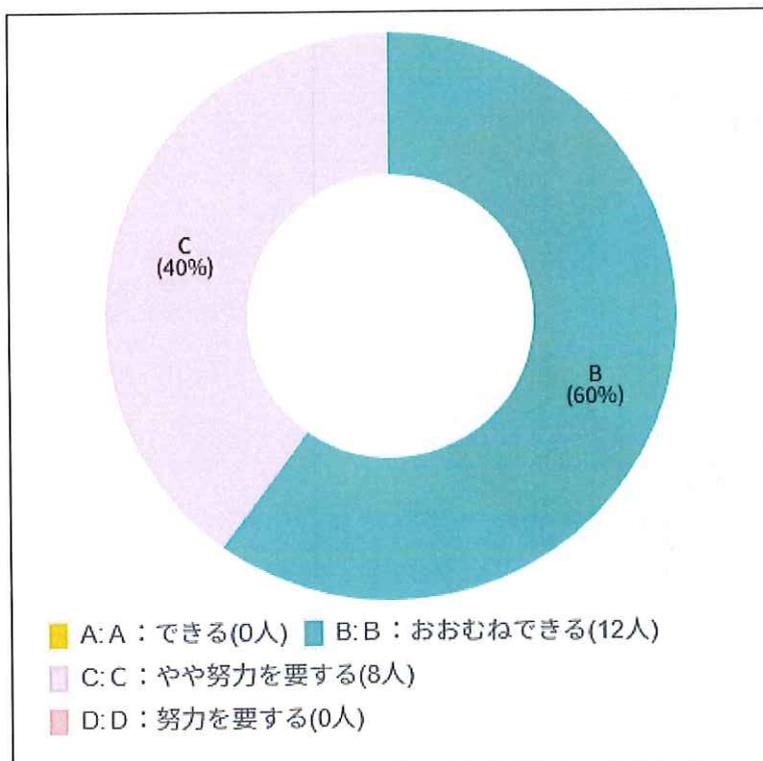
設問12

育ちや学びの連続性を意識した指導計画の作成や交流・連携の実施について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



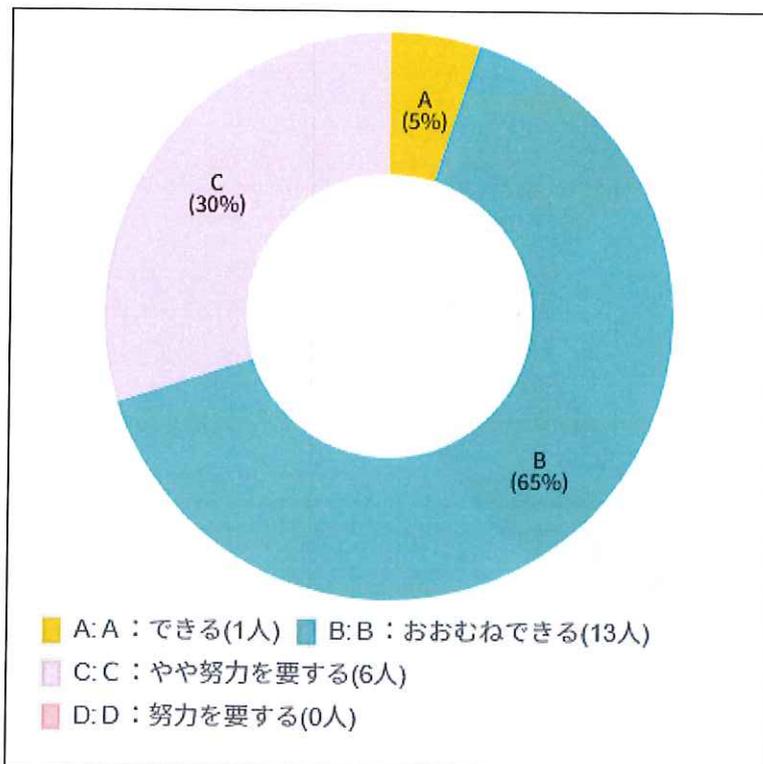
設問13

地域との交流活動等の実施や地域・関係機関との連携について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



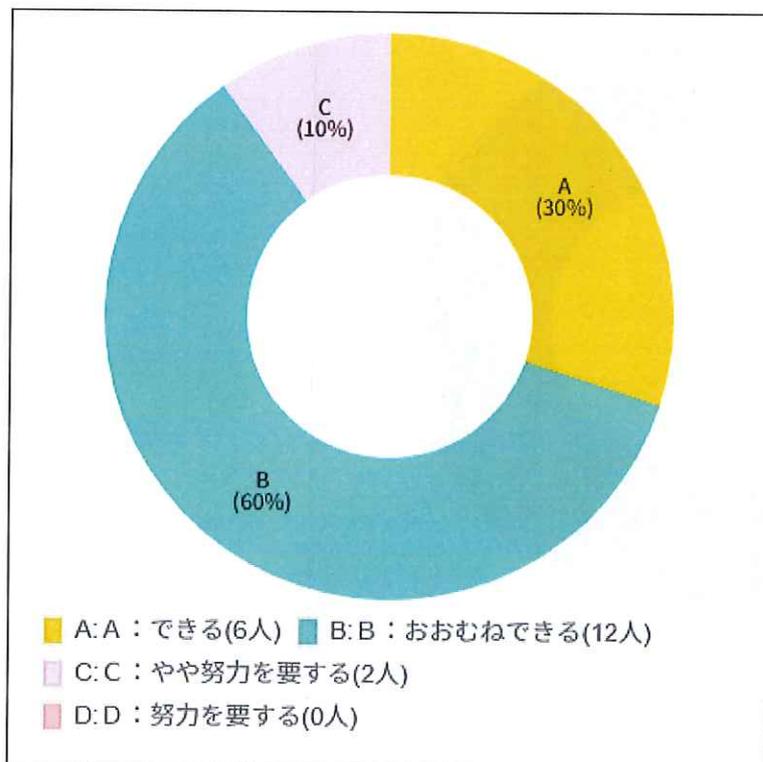
設問14

情報モラルや情報セキュリティについて、子育て支援の観点から保護者や他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



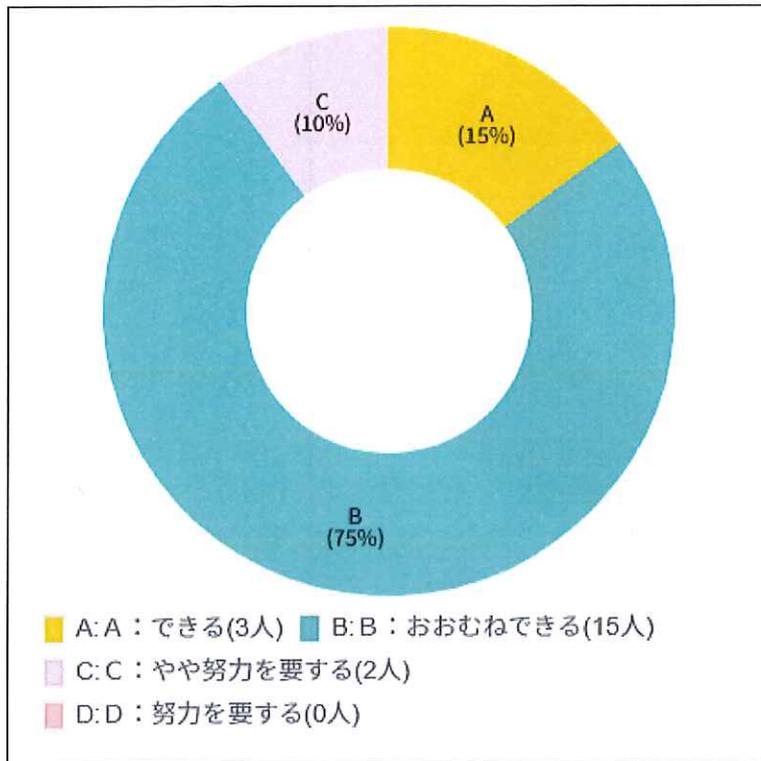
設問15

乳幼児一人一人の発達の過程や背景を踏まえながら、発達の特徴や課題を把握し、一人一人に応じた適切な保育をすることができる。



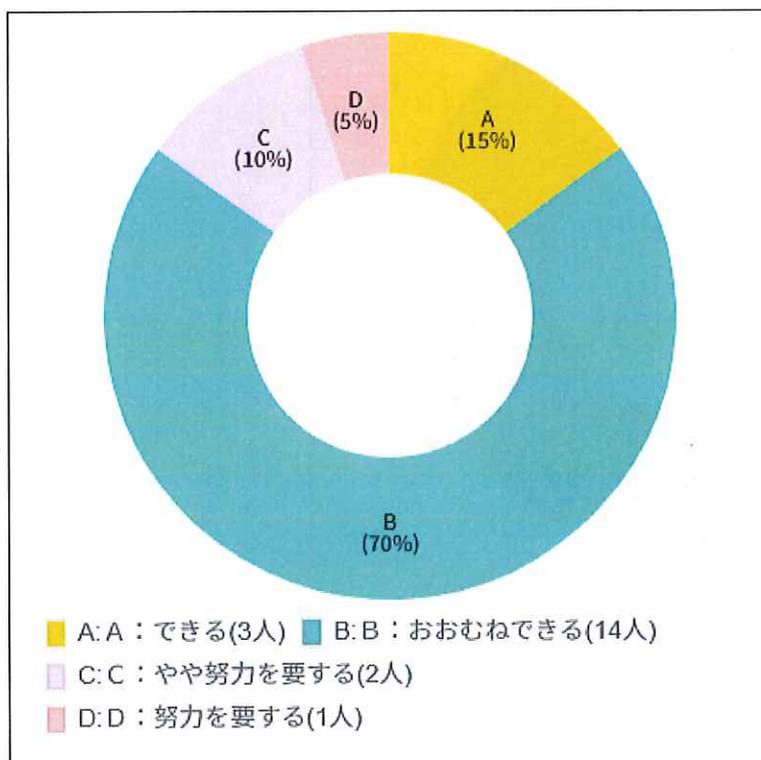
設問16

乳幼児一人一人の発達の特性を踏まえ、それぞれの集団の中で、乳幼児が主体的に活動し多様な体験ができるように人との関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わえることを意識した環境の構成や保育の展開ができる。



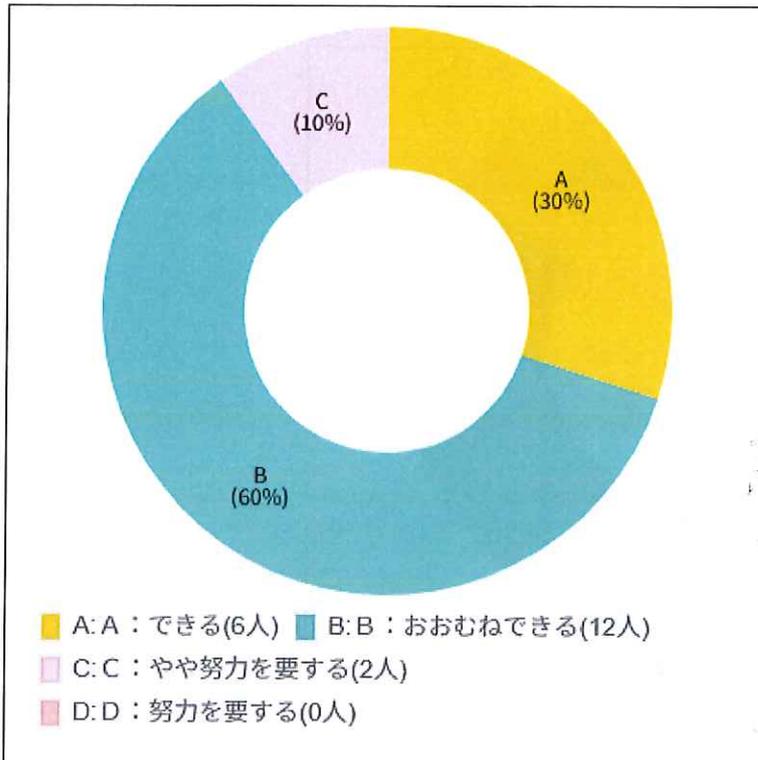
設問17

乳幼児一人一人の内面やその背景に応じた保育や乳幼児の個の成長と集団としての活動の充実が図られる保育について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



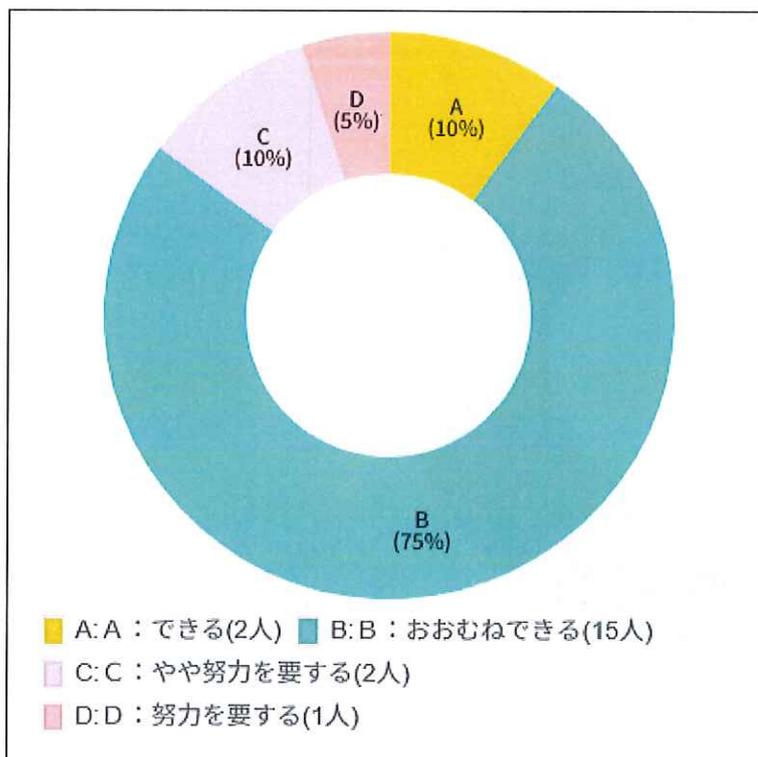
設問18

保護者の状況や家庭の背景を把握し、家庭と適切かつ密接な連携を図り、子育て相談に応じることができる。



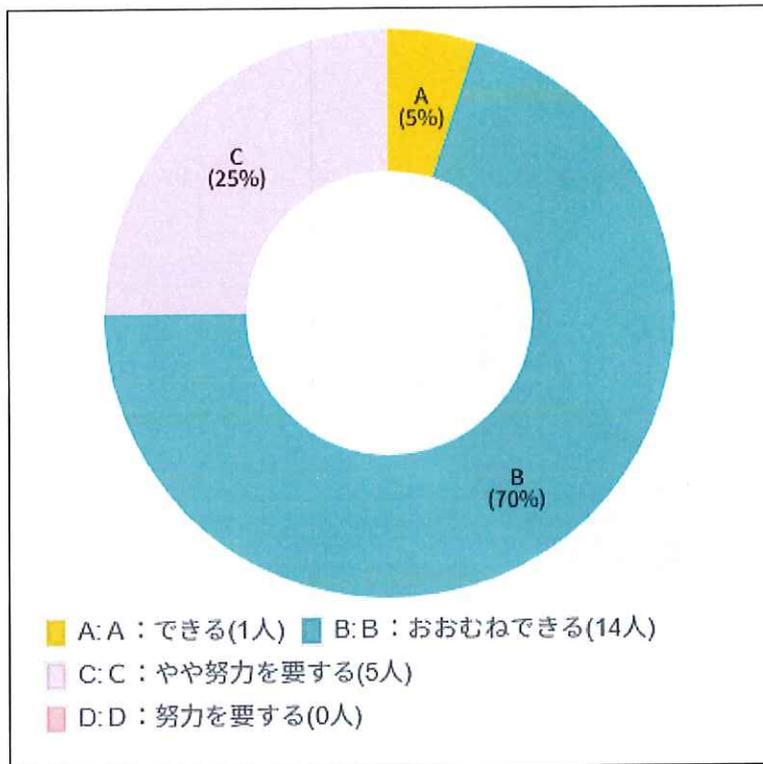
設問19

保護者との関わり方や子育て支援と預かり・延長保育等の園の運用について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



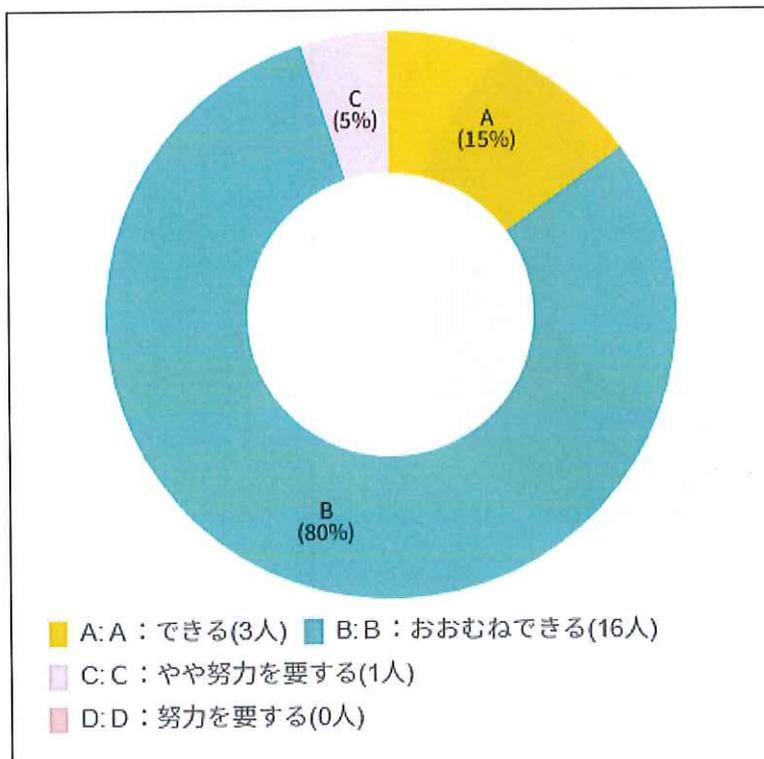
設問20

乳幼児の実態や一人一人の発達の過程を把握するとともに、園の課題を的確に捉え、主体的な遊びや活動を支える意図的・計画的な環境の構成を行うことができる。



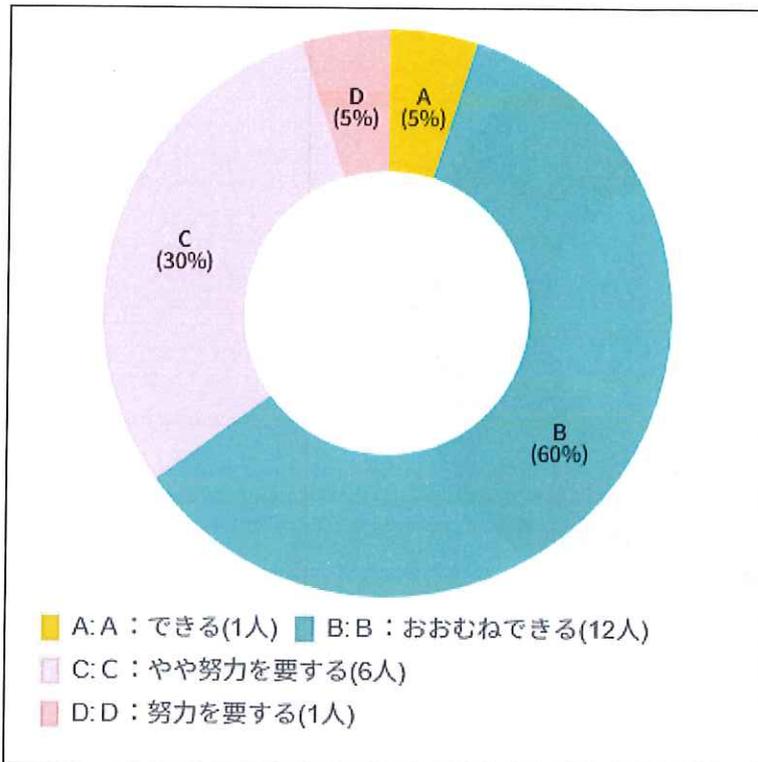
設問21

乳幼児の実態や一人一人の興味・関心、心の動きに応じた保育の展開や関わりの充実が図られた保育をすることができる。



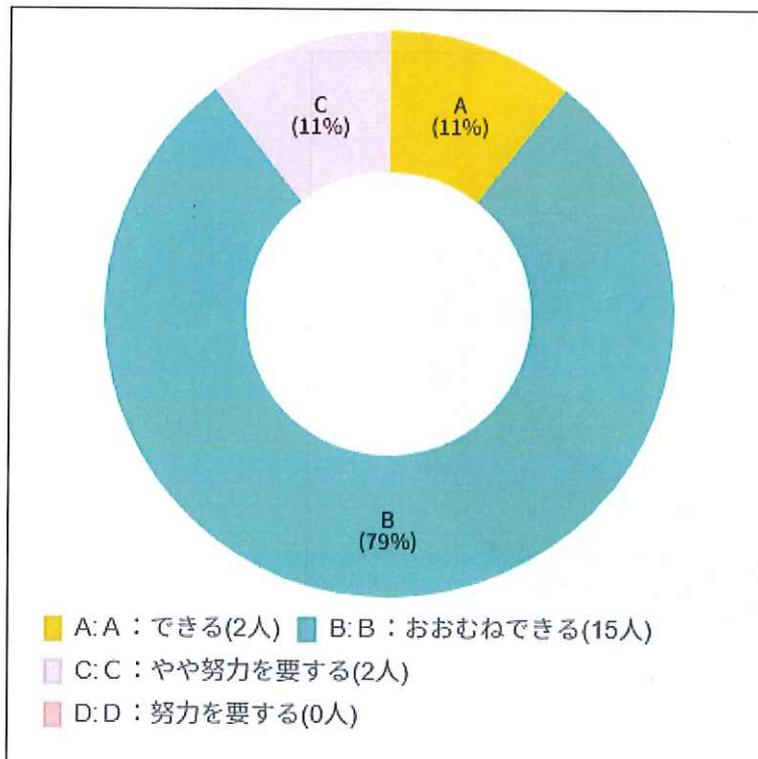
設問22

保育の実践及び改善について、他の保育者に、保育実践や記録等による評価・分析に基づいた助言・支援を行うことができる。



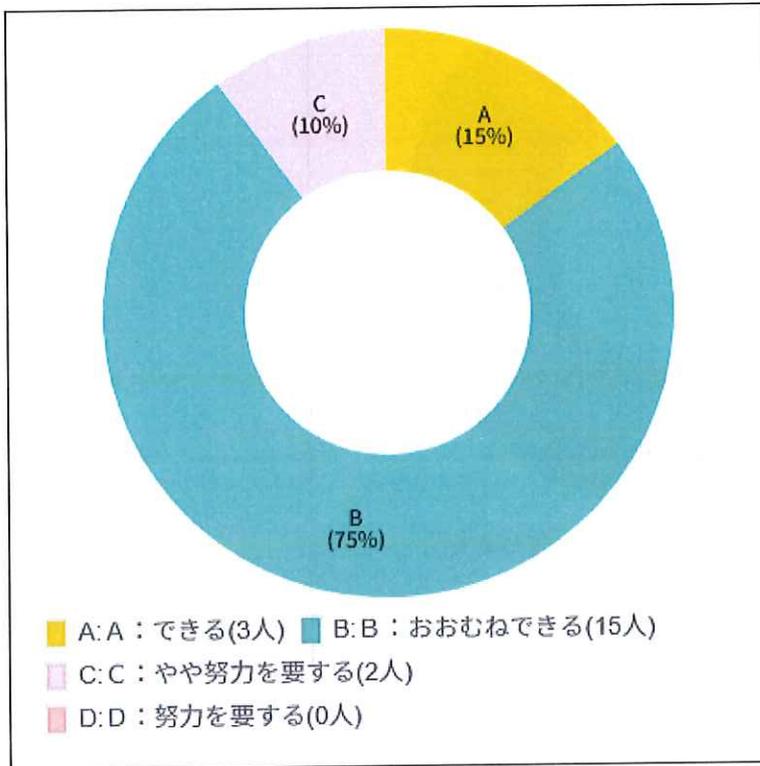
設問23

評価・分析に基づき、保育の改善及び指導計画等の改善を図ることができる。



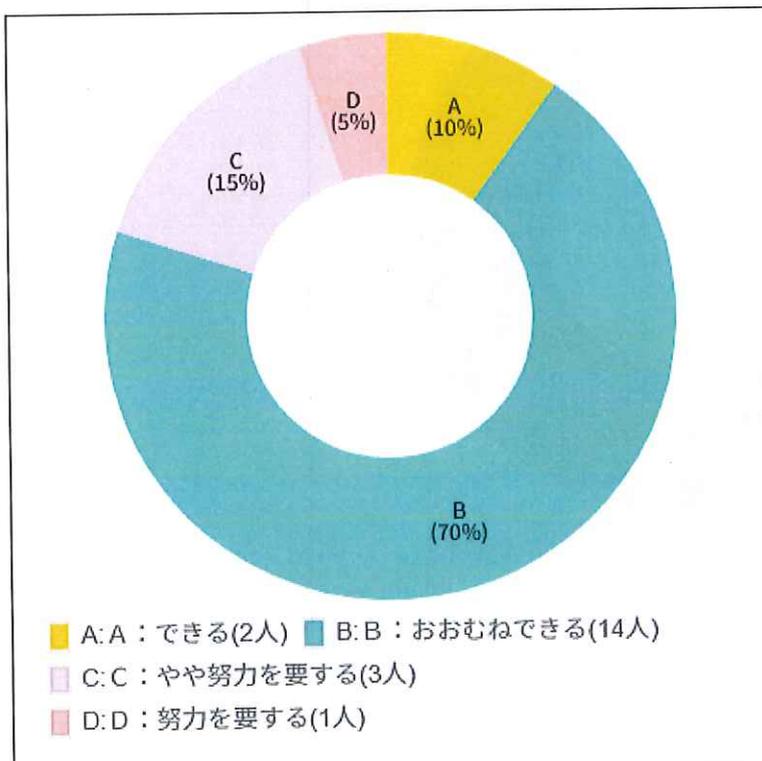
設問24

乳幼児が自ら環境に関わり、試行錯誤したり、考えたりすることができるような、心を動かされる体験や遊びを、育ちの方向を意識して取り入れたり展開したりすることができる。



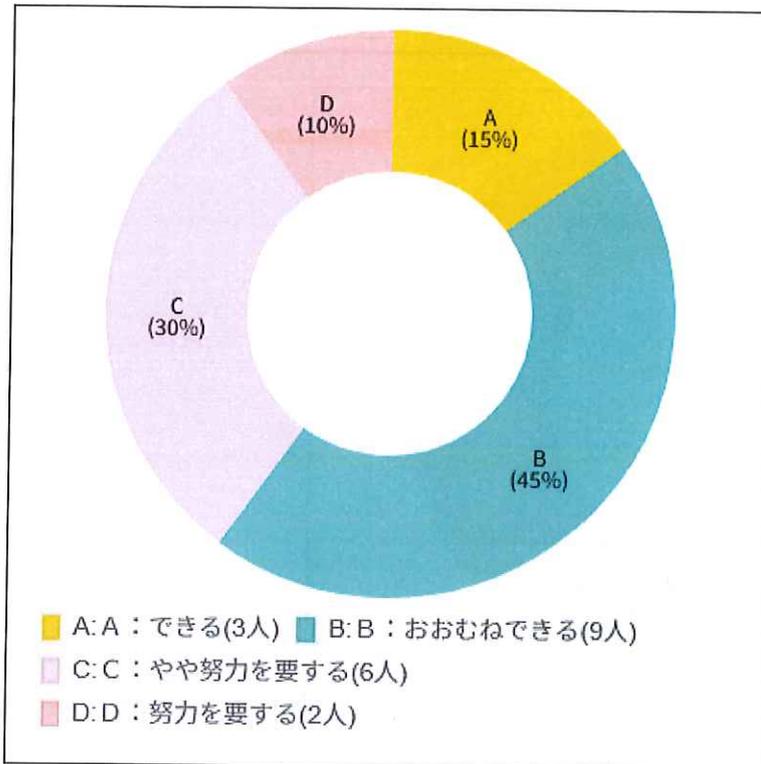
設問25

乳幼児の主体性や問題解決をしていこうとする姿を育む体験や遊びの充実について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



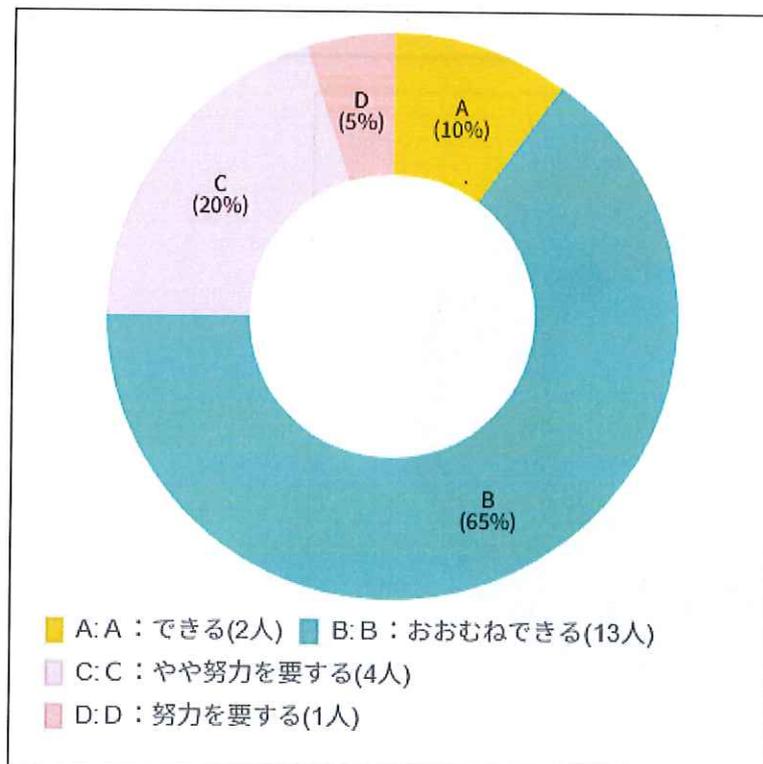
設問26

教育・保育の質を高めるため、園内研修を計画的・継続的に推進することができる。



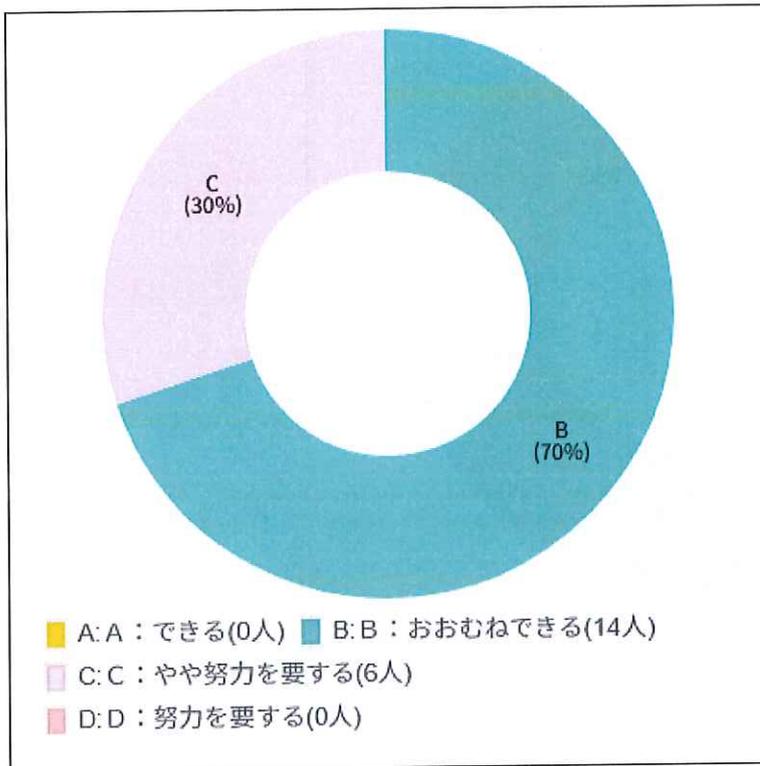
設問27

課題意識をもって園外研修に参加し、園内研修への活用や園の諸課題の解決に向けた方策につなげることができる。



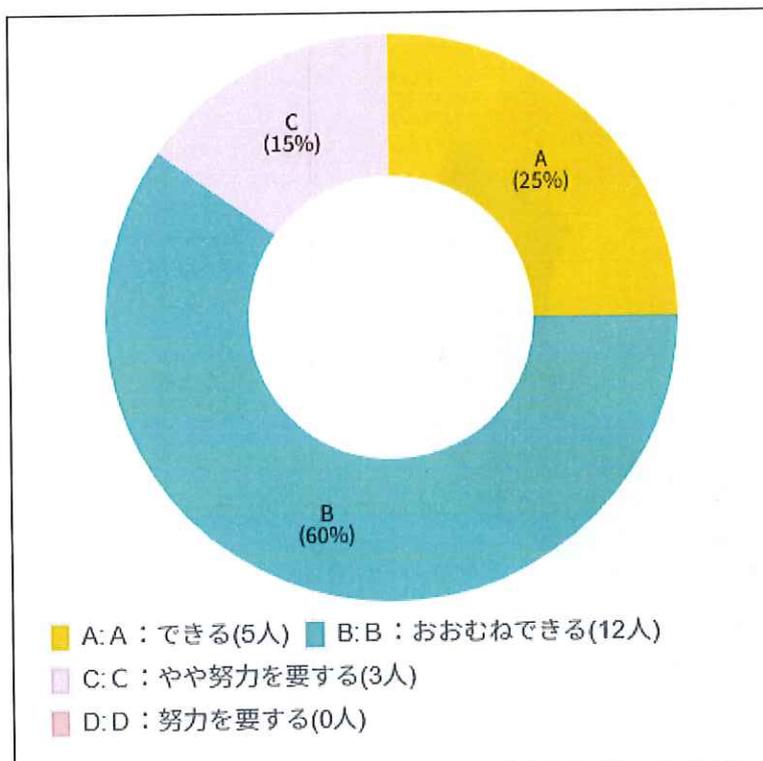
設問28

保育の中での情報機器の活用を推進するとともに、活用について、他の保育者に助言・支援を行うことができる。



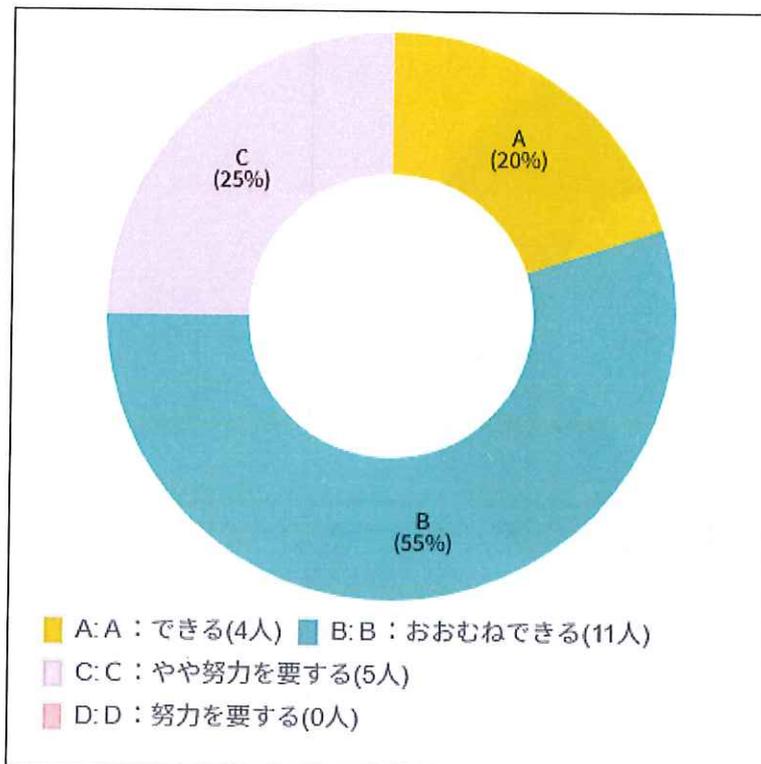
設問29

個に応じた指導内容や指導方法について、成果と課題を分析し、指導計画の改善に生かすことができる。



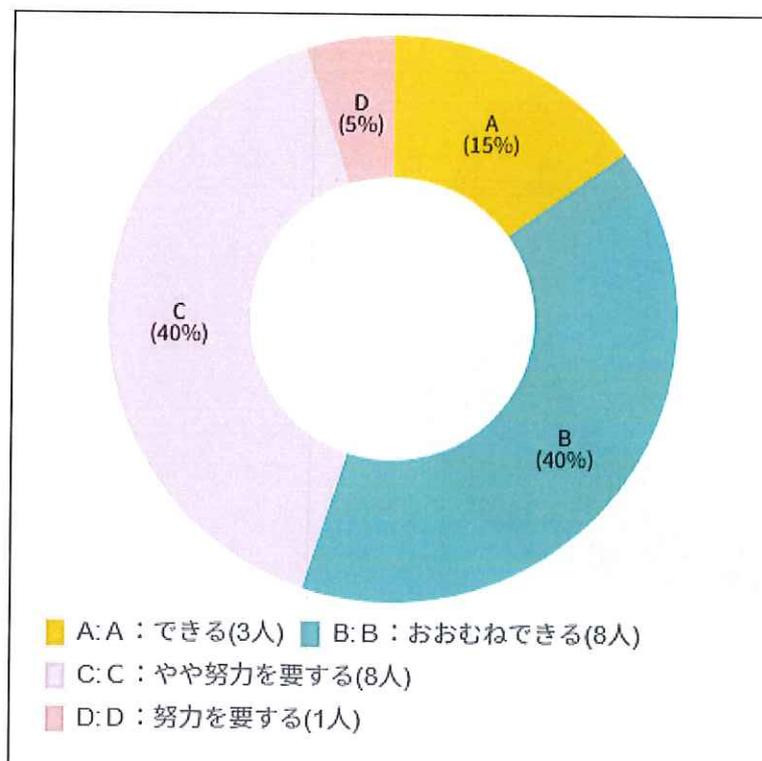
設問30

障害のある乳幼児等との交流及び共同学習が組織的に計画的・継続的な活動となるよう見直しを行い、充実を図ることができる。



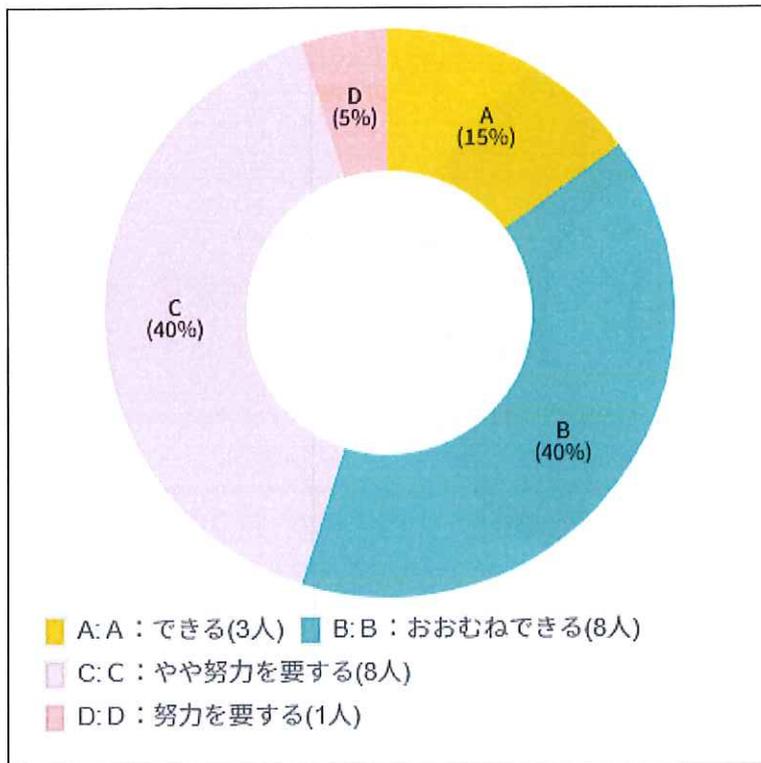
設問31

関係機関との連携を図り、障害のある乳幼児の障害の種類や程度、特性等に応じた保育や支援、各指導計画の作成・改善をすることができる。



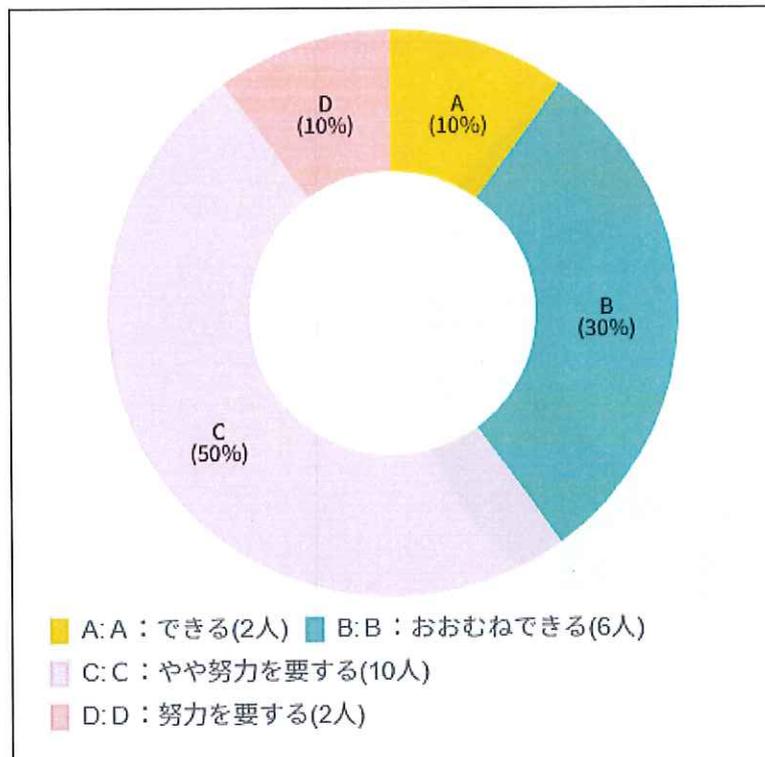
設問32

障害に関する知識や配慮等についての正しい理解と認識を深め、障害のある乳幼児の保育や支援について、他の保育者に適切な助言・支援を行うことができる。



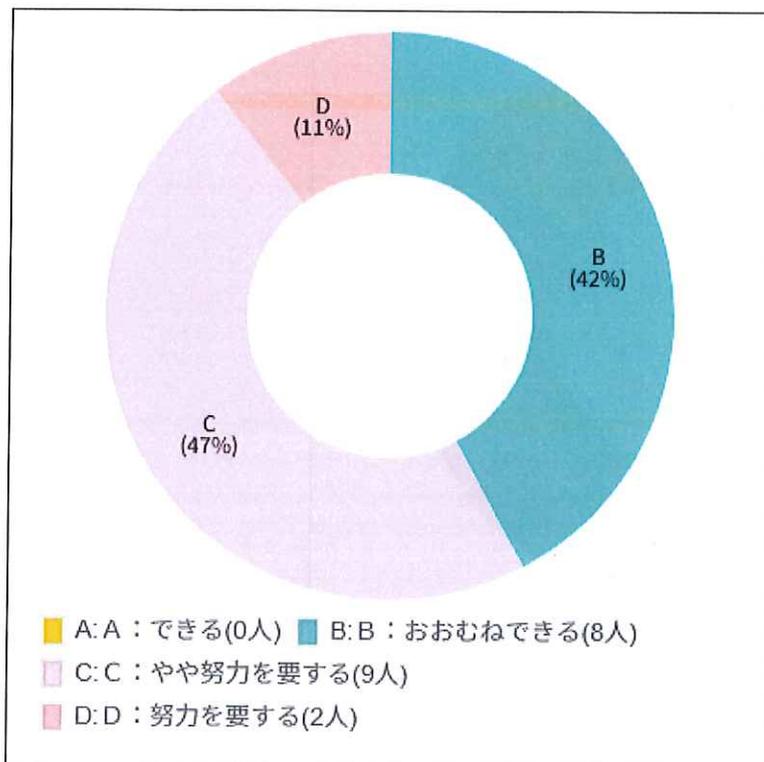
設問33

園運営の課題に建設的な改善策を提案し、園運営に積極的に参画することができる。



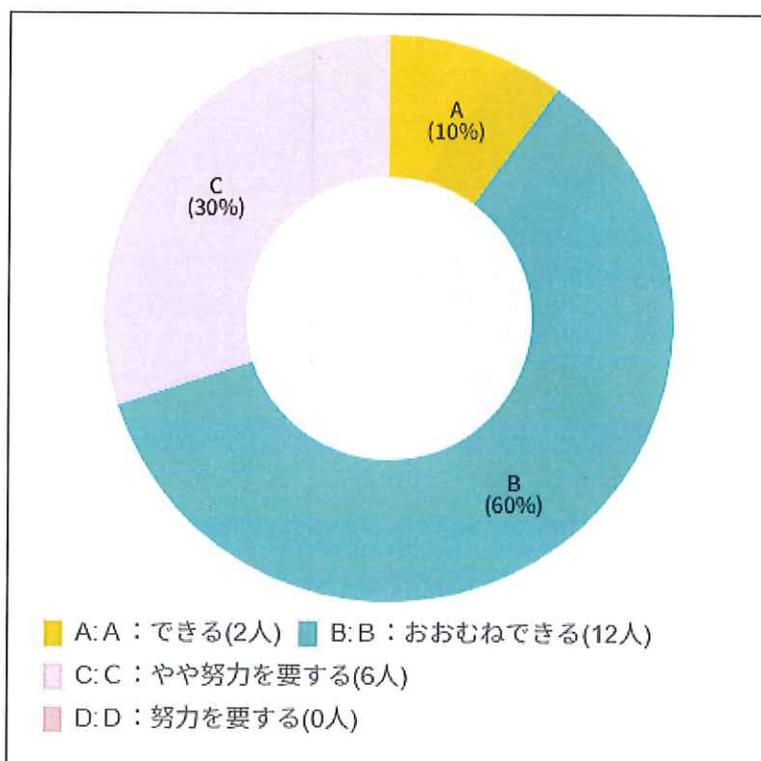
設問34

地域における園の役割を踏まえ、地域・関係機関との連携及び協力体制を構築し、在園児や地域の子どもの諸課題に対する取組を推進することができる。



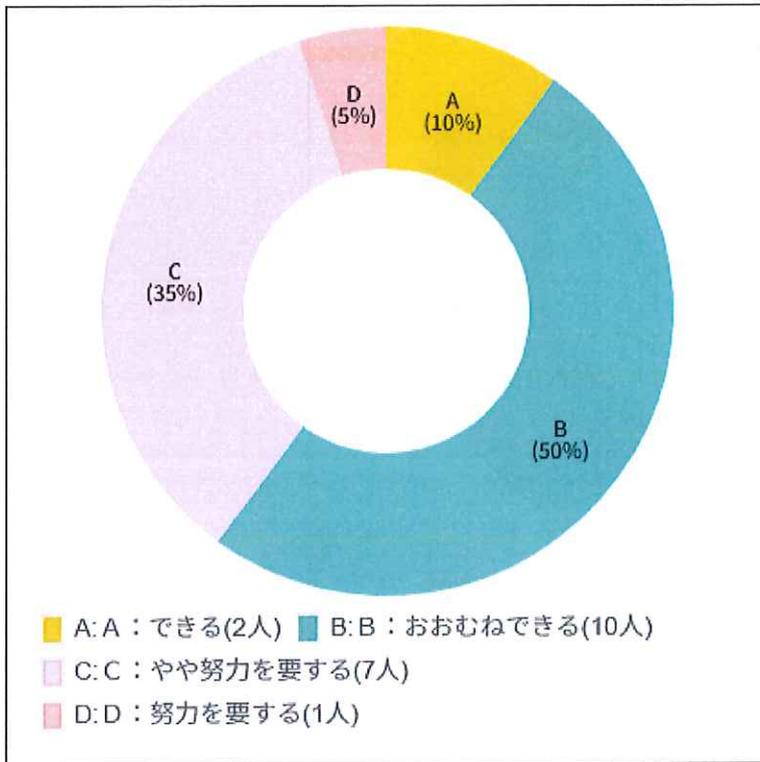
設問35

地域における子育て支援や、預かり・延長保育等の園の弾力的な運用について、園内での周知と保護者への発信をすることができる。



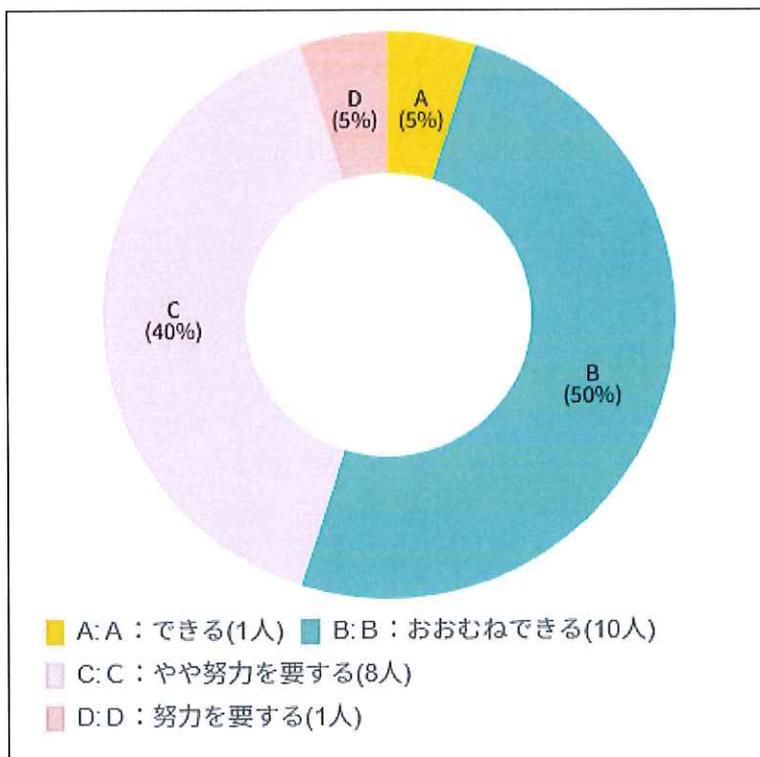
設問36

ふるさと教育・キャリア教育についての理解を踏まえ、校種間や地域との連携を計画的に取り入れ、乳幼児の発達に応じた体験や、地域の人材や素材と関わる体験を充実させることができる。



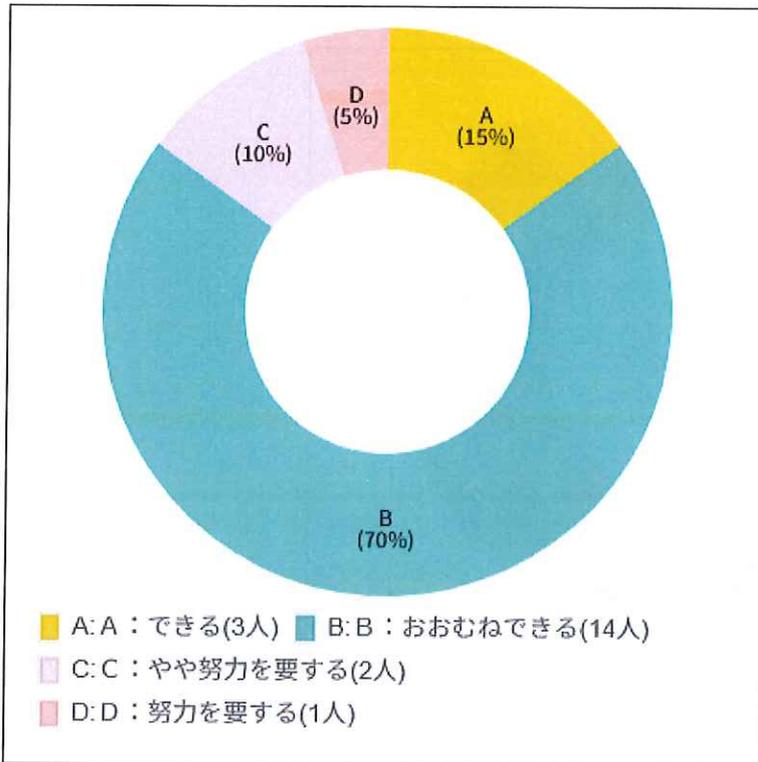
設問37

乳幼児期のキャリア教育のねらいや必要性を家庭や地域に発信することができる。



設問38

必要に応じて関係機関や地域と連携しながら、乳幼児と保護者に組織的で適切な対応をすることができる。



設問39

質問、ご意見、要望、気付き等ありましたらご記入ください。無い場合は記入なしで大丈夫です。

他